

キャラクター名  
由有 圭(ユアリ ケイ)

プレイヤー名

シンドローム	パロール ハヌマーン		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	教師(家庭科)
	オプション		年齢		性別	男
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	相棒	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	9
精神	3	0	0			3	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:	1		情報:	UGN	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
必中の弓	射撃	3r+14	0	11		常に射撃判定に+10、ダイス減少を受けない、判定に失敗すると暴走を付与。
	射撃	7r+14		20		
	射撃	9r+14		23		100%超え、侵食値10
	射撃	9r+14		63		100%超え、侵食値15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者	P	N		
「U」	P 尊敬	N 悔悟		
「J」	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:パロール	2	2	メジャー			対決		
効果: C値を下げる。								
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	-	対決		
効果: 攻撃 (LV×3)、判定ダイス-2								
電光石火	1	3	メジャー	武器	-	対決		
効果: 反対ダイスに+ (LV+1) D								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	-	対決	80	
効果: 攻LV×10、判定ダイス-5								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果: 対象の判定を自動失敗								
援護の風	2	2	オート	視界	単体	自動		
効果: 判定ダイス+LV								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

痩せぎすの見た目に暖炉の中にも突っ込んだ? ってくらい灰色の髪、切れ長の目と家庭科の教職員っぽくない見た目。声音は低く、静かに話す。冴えない。生徒の相談には懇切丁寧に接する世話焼きな所あり。「任務」のときはリアリストチック。

生まれながらのオーヴァード。遺伝子操作にて、再起不能となったオーヴァードの脳細胞の一部を用いてとある目的のために造られたデザイナーズベイビー。目的というのはEXレネゲイドに感染し、超常の力を有する「遺産」との人為的な適合を目指すことである。それにより遺産の存在の究明、戦力の大幅上昇を目論んだ幹部の思惑だった。来る日も来る日も適合実験を行われ、その度に拒絶反応による苦痛を味わう日々を送っていた。その中で自分と同様に適合実験体として生まれた「U」と出会う。自分と異なり明るく、どれだけ日々が辛くとも楽観的な彼に次第に希望を感じていく。正にUは太陽のような存在だった。そしてとある実験にて、Uが遺産との完全な適合に成功。それを機に実験は非人道的行為が露見したため凍結。その後二人は関西圏のO市支部に派遣され、UGNチルドレンのバディとして活動。Uが後方射撃、自身は前衛として数々の任務に参加。親友であり相棒であるUと共に絆を深めていった。そんな彼を、Uを破壊したのはバディとなって135日後だった。とある任務にてUは戻れなくなってしまった。それをUが再生しなくなるまで、バラバラに切り刻んだ。そして、結果として現在武器としている遺産、「必中の弓」の契約者となった。そんな最悪の状況の中もう一つの心の支えとなったのはO市支部の当時の面々。遺産継承者である者を討ち取った肩などに尾鰭がつき「相棒殺し」などの誹謗中傷もあった中、優しく心に寄り添い、片時も彼を孤独にしなかった。こうしたことにより、徐々にではあるが再起していく。絆の力の大きさを知った彼は、再びチルドレン、エージェントとして活動を始める。そんなO市支部の面々の優しさに触れてか、いつしか誰かに寄り添う人間でありたいと願い、教員免許を取得した。現在も二足の草鞋で活動している。